

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和01年12月04日

計画の名称	安全で快適な、未来へつなげる生活環境づくり（防災・安全）									
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当	
交付対象	矢掛町									
計画の目標	下水道施設のストックマネジメントを実施することにより、安全・安心で快適な生活環境の実現を図ると同時に下水道事業の安定経営を実現させる。									
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	377	A	377	B	0	C	0	D	0
効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)										0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	ストックマネジメント計画に基づく長寿命化対策実施率を0%（R2年度当初）から100%（R6年度末）へ増加させる。			
	ストックマネジメント計画に基づく長寿命化対策実施率	0%	50%	100%
	長寿命化対策実施済み施設数（計画期間内）／ストックマネジメント計画策定済み施設のうち長寿命化対策が必要な施設数（計画期間内）×100			
2	ストックマネジメント計画の計画更新率を0%（R2年度当初）から100%（R6年度末）へ増加させる。			
	ストックマネジメント計画の計画更新率	0%	0%	100%
	ストックマネジメント計画改定済み施設数（計画期間内）／ストックマネジメント計画の策定が必要な施設数（計画期間内）×100			
3	小林中継ポンプ場の耐水化実施率を0%（R3年度当初）から100%（R4年度末）へ増加させる。			
	耐水化計画策定施設数	0%	100%	100%
	耐水化計画策定済み施設数／耐水化計画を策定すべき施設数×100			

備考等	個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	矢掛町	直接	一	終末処 理場	改築	長寿命化事業（矢掛浄化 センター）	長寿命化対策（水処理施設・ 汚泥処理施設）設計等	矢掛町	■	■				12		策定済
		ストックマネジメント																	
		A07-002	下水道	一般	矢掛町	直接	一	終末処 理場	改築	長寿命化事業（矢掛浄化 センター）	長寿命化対策（水処理施設・ 汚泥処理施設）	矢掛町		■	■	■	■	240	
	ストックマネジメント																		
	A07-003		下水道	一般	矢掛町	直接	一	管渠（ 汚水）	改築	長寿命化事業（矢掛町公 共下水道区域）	長寿命化対策（マンホールポ ンプほか）設計等	矢掛町	■	■				9	
		ストックマネジメント																	
		A07-004	下水道	一般	矢掛町	直接	一	管渠（ 汚水）	改築	長寿命化事業（矢掛町公 共下水道区域）	長寿命化対策（マンホールポ ンプほか）	矢掛町	■	■	■	■	■	24	
	ストックマネジメント																		
	A07-005		下水道	一般	矢掛町	直接	一	終末処 理場	改築	地震対策事業（矢掛浄化 センター）	地震対策（管理汚泥棟・塩素 混和池棟）耐震診断・設計等	矢掛町	■	■				42	
		ストックマネジメント																	
		A07-006	下水道	一般	矢掛町	直接	一	終末処 理場	改築	地震対策事業（矢掛浄化 センター）	地震対策（管理汚泥棟・塩素 混和池棟）耐震補強	矢掛町		■	■			30	
	ストックマネジメント																		

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-007	下水道	一般	矢掛町	直接	－	－	改築	下水道ストックマネジメ ント支援事業（矢掛町公 共下水道区域）	ストックマネジメント計画の 改定（管渠・ポンプ場・処理 場）	矢掛町				■	■	10		策定済	
		ストックマネジメント																		
	A07-008	下水道	一般	矢掛町	直接	－	ポンプ 場	改築	耐水対策事業（小林中継 ポンプ場）	耐水化（小林中継ポンプ場） 計画策定・設計等	矢掛町			■	■			10		未策定
		耐水化（浸水対策）																		
												小計						377		
											合計						377			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02				
配分額 (a)	0				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h) / (c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 安全で快適な、未来へつなげる生活環境づくり（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①個別処理との経済比較に関する上位計画等との適合	
I. 目標の妥当性 1) 都道府県構想（クリーンライフ100構想）に適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) これまで行ってきた、「下水道事業の整備効果向上を図るための事業の再点検（4つの課題）」の実施結果を反映している。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて下水道整備の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 下水道整備の必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と下水道事業認可区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 5) 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	

[illegible]

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

